

3-15 その他観光（圏域：全市域）

3-15-1 施設再編の方針

対象施設
別府競輪場、別府競輪場（ふれあい会館）、別府競輪場（市民広場）、地獄蒸し工房鉄輪
施設再編の方針
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 別府競輪場は施設の適切な維持管理に努め、利用率の低い別府競輪場ふれあい会館や別府競輪市民広場は、稼働率改善に努めます。 ▶ 地獄蒸し工房鉄輪は、鉄輪地区の観光拠点施設として重要な役割を担っており、適切な施設保全を行い、維持・存続します。多くの利用者がいる施設として、民間の活力による適性な運営形態により、一層の収益率の向上を図ります。

3-15-2 現状分析

① 施設の概要

別府競輪場は昭和 25 年亀川東町に開設され、その事業収益から市へ繰り出しを行い、市の財政健全化に貢献しています。競技場の観戦スタンドや管理棟、選手宿舎が主な施設で、平成 17 年にメインスタンドの大規模改修を行っています。競輪資料館・貸し館として運営する別府競輪場（ふれあい会館）は、競輪場第 5 駐車場に平成 17 年に建築されています。

全国で唯一の競輪場内の温泉施設である別府競輪場（市民広場）は平成 9 年建築です。貸し館機能もあります。温泉施設は競輪開催期間中、無料開放されます。

地獄蒸し工房鉄輪は、古くから伝わる温泉蒸気を利用した「地獄蒸し料理」が体験できる施設です。国のまちづくり交付金を活用し、平成 22 年に整備されました。

② ポートフォリオ分析結果

その他観光施設には、別府競輪場、地獄蒸し工房鉄輪、別府競輪場（ふれあい会館）、別府競輪場（市民広場）と 4 施設ありますが、施設の設置目的、施設機能は異なるため、基礎データを整理するとともに、ポートフォリオ分析は実施しません。

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質				平均 偏差値 (ハード)
			築年数 (年)	偏差値	耐震 対応率(%)	偏差値	
308	別府競輪場(ふれあい会館)	130.0	9.0	62.7	100.0	55.3	59.0
338	地獄蒸し工房鉄輪	315.9	5.0	65.1	100.0	55.3	60.2
720	別府競輪場	15,252.4	20.0	56.2	64.4	46.3	51.2
3485	別府競輪場(市民広場)	393.8	18.0	57.3	100.0	55.3	56.3

供給		財務		平均 偏差値 (ソフト)	判定 結果
1日あたり 利用者数 (人/日)	偏差値	利用者あたり 市負担額 (千円・日/人)	偏差値		
1.8	41.0	638.8	38.6	39.8	IV
526.2	52.6	24.3	52.1	52.3	I
1,102.6	65.3	-572.6	65.2	65.2	I
3.1	41.1	390.1	44.1	42.6	IV

図 48 各指標の基礎データ（その他観光施設）

③ 老朽化の状況

別府競輪場は施設の更新等を定期的に行っており、比較的新しい施設となっています。

地獄蒸し工房鉄輪は、常に温泉の吹き出しなどがあり、厳しい環境条件のもとに立地しているため、設備の劣化が通常より早い傾向があります。

④ 利用状況・コスト状況

(i)年間利用者数

別府競輪場は、検車場や選手宿舎など開催中しか使用されない施設が多く、稼働率は 3.5%と低い水準にあります。別府競輪場（市民広場）2階の貸出は、開催日は17時以降に限られ、ナイター場外開催の日は使用できません。利用率も 5.2%に留まります。

別府競輪場（ふれあい会館）は、地元自治会が集会等で月 4～5 回使用されるにとどまり、利用頻度は高くありません。

地獄蒸し工房鉄輪は年間 15 万人以上に利用されており、市内の観光拠点としても一定の役割を担っています。

(ii)運営コスト

別府競輪場は黒字収支となっており、市の財政健全化に貢献しています。

地獄蒸し工房鉄輪は年間 15 万人もの利用者数があるにも関わらず、収益性は高くありません。設備の維持に多くの費用を要しています。